

- |     |   |     |  |
|-----|---|-----|--|
| 2日  | センター事務局員候補研修会、坂林<秩父>。   | 19日 | 第28回事務局会議。   |
| 4日  | センター事務局員候補研修会、菅野<秩父>。   | 20日 | 第6回基本研究会、「労働者協同組合法第1次法案要綱」発表<br>〈東京・豊島勤労福祉会館〉。         |
| 5日  | 第27回事務局会議。  | 21日 | 全米退職者協会など調査でアメリカへ、<br>勝部・坂林く〜5月1日〉。                    |
| 6日  | 第4回拡大大常任理事会〈池袋・芸術劇場〉。   | 22日 | 第3回協同集会実行委員会、講演：仁昌寺<br>正一、杉本・菅野〈仙台〉。                   |
| 11日 | 法制化プロジェクト打ち合わせ、杉本・菅野・山岡・堀越・坂林〈研究所〉。<br>法政化プロジェクト財政小委員会、堀越・吉本・梶・風間・坂林〈第一経理〉。 | 23日 | 埼玉大シンポ打ち合わせ、奥村宏氏・菅野<br>〈中央大学〉。                         |
| 12日 | 全米退職者協会学習会、勝部欣一・武市ゆう子・坂林〈研究所〉。  | 26日 | 神奈川・けんぱく生協、牧田副理事長・島村常任理事・赤塚企画課長、黒川俊雄、懇談〈研究所〉。<br>所報発送。 |
| 13日 | 東京中小企業家同友会学習会、菅野。   |     |  |
| 14日 | 三重県全日自労50年史出版記念、杉本・飯島・木下・矢吹・手島〈三重県〉。  |     |  |

## お 知 ら せ

隔月で掲載されていましたが「協同組合研究書誌」は、古桑實さんのご都合で、前月号（所報No49）で終了となりました。2年と数ヶ月に渡って（書誌No1〜14）、貴重な資料をありがとうございました。

## 編 集 後 記

○事業所で働く人たちに時間を割いてもらうのは容易ではありません。皆さん忙がしくてなかなかつかまらない。だからこそ、尚更実現したいと思った“座談会”です。

紙面上、カットせざるを得なかった部分、もっと掘り下げたかったテーマ……どれほどのことが表現できたのかという編集としての反省や思いを抱えつつ、それでも、いつの時代も言われる「今の若い者は」という言葉をはねのけるだけの継がりを感じるものが充分にあったと思います。

○H I V問題に取り組む、黄柳野の高校生の皆さんに登場していただきました。きっかけは「学校」でも、その中だけでは得られない多くの出会い、そして関わり…。

そこへ参加する動機は様々ですが、人と関わる中で感じ取ったものは、自分が持っているものの再認識であったり、新たな自分の発見であったりするのではないのでしょうか。

○菊地さんのことばを借りれば「ちょっと窓をあけてみる」、肩の力を抜いてできれば最高です。年齢には関係なく。（編集部）